



学校だより

# 伸びゆく子

令和2年6月29日  
横浜市立中沢小学校  
7 月 号

## 学校再開第三期をむかえるにあたって

学校長 小倉克彦

夏らしい暑さを感じる季節になりました。子どもたちが植えた校庭のひまわりがグングンと成長しています。みなさまお元気でお過ごしでしょうか。

学校は長期休校から段階的に教育活動再開をすすめているところです。現時点では7月1日よりいよいよ第三期を迎える予定です。その間、しばらくぶりの学校生活に戸惑い、疲れがでている子どもたちをあたたく見守り、支えてくださっている保護者の皆様、地域の皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

先日、授業中の子どもたちの様子を見に校内を巡回している時に6年生が学年集会をする場面に遭遇しました。感染症予防のために体育館の窓を全開し、間隔をとって整列し、15分間限定の活動でした。活動内容は、「委員会活動など従来学校生活を維持、充実するために高学年を中心に活動してきた取組がすべてストップしている中、自分たちにできることはないか考える話し合い」です。6年生は集会開始時刻の3分前には集合完了し、いつ集会がはじまってもいいように整列していました。話し合いでも、たくさん子どもたちが発言し、その言葉に一人ひとりがうなずきながら真剣に耳を傾けていました。新しい学年がスタートし数週間、全体で集まる機会も一切なく、分散登校明けのこの時期に6年生一人ひとりが学校のリーダーとして緊張感とやる気に満ちた態度で集会に参加する姿に心から感動しました。様々な制限の中、協力して前向きに学校生活を送っている子どもたちの前に、わたしたち大人も「前向きな姿で立ちたい」と改めて思いました。

さて、第二期に移行する前、全校児童対象に「子どもたちの心のケア」にかかわるアンケートを実施しました。これは長期休校明けの子どもたちの状況を十分に理解して教育活動を展開するための資料として教育委員会が作成したアンケートです。回答からは毎日張り切って登校し、楽しそうにレクに参加したり、意欲的に学習に取り組んだりしているものの、心の中では不安と戦っている様子も十分に伝わってきました。現在学校では、一人ひとりの子どもと個人面談を実施するとともに、引き続きあせらず、いそがず、あたたかい雰囲気ですchool生活を送るよう配慮をしながら指導をすすめています。子どもたちが安心できる学校生活を提供するためには、子どもにかかわる大人がしっかりと連携することがますます大切になります。今後とも保護者、地域のみなさまとともに子どもたちを見守っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

世の中では行動の制限が緩和され、人の行き来が活発になっていますが、感染症予防については引き続き地道に丁寧な取組がもとめられます。学校でも国や教育委員会で示された方針を踏まえ、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。放課後、地域で過ごす子どもたちがマスクをしていなかったり、近い距離で過ごしたりしている様子についても様々情報提供やお問い合わせをいただいています。学校、保護者、地域の皆様で力を合わせて子どもたちを守っていきたいと思えます。今月もよろしくお願いいたします。